令和2年度版 改善計画

学校名：甲府工業高等学校

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	会議時間が長い。内容の説明が長くなる。朝礼も長くなる場合がある。	会議資料を決められた場所に保存することで、事前に議題を確認することが可能に。朝礼も掲示板で済むことは掲示板で。	①全ての会議で、分かりやすい資料作成に心掛け、提案を簡潔に行うことで時間を短縮する。 ②ペーパーレスの完全実施を行い、会議資料を事前に議題を確認することで会議の時間短縮を図る。また、掲示板等の活用により開催回数の縮減等を検討する。	
2	学校行事の負担軽減	学校行事の実施に当たり、PDCAが十分とは言えない。	行事を惰性でなく、効率良い実施に努める。	①異常事態に伴い、本当に必要な行事は何かを確認する。 ②教育効果が最大限となるように、行事を精選し実施する。	
3	校内組織の見直し	分掌内での業務が、特定の教員に偏っている。	分掌の適正化、分掌内での業務の平準化を常に図る。	①各分掌間で情報共有を行うと共に、R2の分掌の再編の検証およびR3への再編成への検討を行う。 ②分掌間の業務の平準化と分掌の適正化を図る。	
4	業務の効率化	調査・報告等の文書は年々増加し、文書作成に大きな負担がある。	提出書類作成の削減を要望するが、分掌を跨いだ情報や書式の共有を図る。	①引継書の有効活用や電子ファイルの整理等により、翌年の業務や担当者の交代に対応する。 ②分掌を跨いでの提出書類の分担や書式の共有を推進する。	
5	部活動の負担軽減	部活動指導の負担は相当に大きい。顧問の複数配置で負担減を図っているが、各部の事情もあり、難しい現状がある。	複数顧問で役割分担をし、効率的な運営を図る。また、部の再編も検討する。	①部活動休養日等を適切に設定する。毎月2回「きずなの日」を設定し放課後に部活動や会議を設定しない。 ②週休日、休日等における年間の部活動指導回数について、全ての教員が86回未満となるようにする。	
6	地域人材の活用	専門外の顧問が部活動指導で苦慮している場面がある。	外部指導者等による競技指導の充実を目指す。	①部活動における困難な部分を学校全体で共有する。 ②外部指導者の増員や謝礼等について検討する	
7	(学校独自の項目) SPHと専攻科	専攻科との連携を図り、文部科学省のSPH研究指定4年目の研究を推進する。	専攻科との連携の中でこれまでの成果を維持し、更なる発展を目指す。	①昨年までの成果をどのように生かせるか検討、実践する。 ②専攻科でのSPH集大成に対し、どのように参加できるかを過度負担とならないことも考慮し推進する。	
8	(学校独自の項目) 全国募集	2021年度入試において全国募集を行うための準備を進めている。	全国募集を行うことで、生徒が活性化し、部活動・学校生活が更に充実したものとなる。	①全国募集の実施方法を検討し、中学生にアピールすることで、学校が活性化するような人材の入学を実現させる。 ②全国募集の実施を定着化させると共に、全国募集で入学した生徒へのフォローも充実させる。	